

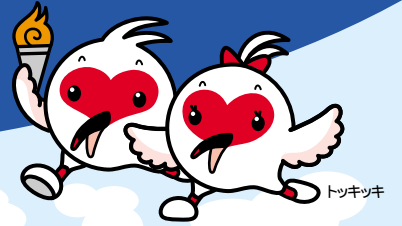
かけはし

VOL.22

- いじめ根絶県民運動実施中(1面)
- 県立高校の通学区域廃止(2・3面)
- 佐渡金銀山を世界遺産に!(4面)
- 大自然に飛び出そう(4面)
- 科学・歴史・芸術に触れよう(4面)
- いじめ相談窓口一覧(4面)

ストップ・ザ・いじめ ~やめよういじめ 許さないじめ~

いじめ根絶県民運動実施中



教育長 武藤 克己

県民総ぐるみでいじめ根絶に取り組みます

いじめ問題は、学校が主体となって取組を強化することが重要ですが、県民が一体となって取り組むことによって、より大きな効果があがると考えています。新潟県では、県民総ぐるみで未来ある子どもたちを見守り、育てるために、「いじめ根絶県民運動」を展開することとし、今年の春から活動しています。

子どもたち一人一人に、「いじめは絶対にしてはいけない」、「社会全体であなたたちを見守っている」などのメッセージを県民全体で伝えていきましょう。



いじめ根絶県民運動の3つの柱

「いじめ根絶にいがた県民会議」の取組

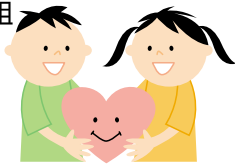
いじめ問題に県民全体で取り組むため県内各界の幅広い約50の機関・団体で県民会議を構成し、いじめ根絶に取り組みます。主な取組として、いじめ根絶スクール集会の開催や懸垂幕掲示の推進等、いじめ根絶の啓発活動を行います。

「ストップ・ザ・いじめ」パレード



学校の取組

学校、家庭、地域が一体となって「いじめのサインを見逃さない」「いじめを許さない」学校づくりに取り組みます。「豊かな心」を育成する教育を推進します。



外ヶ輪小学校の児童集会

支援体制

子どもたちや保護者の支援のために、24時間いじめ相談電話を設置しています。県内すべての中学校にスクールカウンセラー又はハートフル相談員を配置したり、小学校の要請に応じてカウンセラーを派遣したりするなど、学校の相談体制を整備しています。

家庭

では

子どもの心の支えになる

子どもが家庭の中で、「自分は愛され、支えられている」と感じることは非常に重要なことです。一緒に遊んだり家庭内の会話を増やしたりしましょう。



いじめは許されない行為であることを教える

「いじめは絶対に許されない行為である」ということを、教えましょう。愛情をたっぷり注ぎながら、褒めたり叱ったりしましょう。子どもは愛情を感じながら、善悪の判断を学びます。

いじめのサインを見逃さない

子どもはいじめる側になることも、いじめられる側になることもあります。子どもとの日ごろのコミュニケーションを大切に、「あなたのことをいつも気にかけているよ」というサインを送りましょう。それに対する子どもからのサインが必ず返ってきます。いじめのサインは、言葉遣いや表情だけでなく、持ち物に表れてくることもあります。普段と違うことに気付いたら早めに学校や相談機関等に連絡し、連携・協力できるようにしましょう。



地域

では

「地域の子は地域で育てる」という意識で地域の子どもに接しましょう。子どもは「多くの大人に見守られている」ことを感じるはず。地域の中で豊かな体験活動等の機会を設けるなど、子どもが思いやりの心や規範意識を育むことができる場面を増やしましょう。